

## 沼上清掃工場試験焼却に係る放射能等の測定結果について

1-1 敷地境界付近の空間放射線量率(4月24日静岡市測定。地面から1mの高さ)

東方向 0.06 $\mu$ Sv/時	西方向 0.05 $\mu$ Sv/時	南方向 0.06 $\mu$ Sv/時	北方向 0.06 $\mu$ Sv/時
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

1-2 同上・試験焼却開始後 (6月13日日本環境衛生センター測定。地面から1mの高さ)

東方向 0.06 $\mu$ Sv/時	西方向 0.05 $\mu$ Sv/時	南方向 0.06 $\mu$ Sv/時	北方向 0.06 $\mu$ Sv/時
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

1-3 同上・試験熔融開始後 (6月15日日本環境衛生センター測定。地面から1mの高さ)

東方向 0.06 $\mu$ Sv/時	西方向 0.04 $\mu$ Sv/時	南方向 0.06 $\mu$ Sv/時	北方向 0.06 $\mu$ Sv/時
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

2 本市が受入れた災害廃棄物(大槌町の木くず)の放射性物質濃度(6月1日静岡県測定)

試料	11.8Bq/kg
----	-----------

※ 以下、静岡県の測定結果は、県のホームページ上に公開されています。

国の定める放射性廃棄物のクリアランスレベルは 100Bq/kg となっています。

3 岩手県大槌町をコンテナが出発する時の空間放射線量率(6月8日、6月9日静岡県測定)

0.05~0.06  $\mu$ Sv/時 (コンテナ両側面中心から 1m 離れた位置)

4-1 プラットホーム No.8 扉前(扉開閉前後)の空間放射線量率(6月11日静岡市測定)

扉を閉めた状態	0.06 $\mu$ Sv/時(住民立会実施、床から高さ 1m、扉から 1m 離れた位置)
扉を開けた状態	0.06 $\mu$ Sv/時( 同上 )

4-2 熔融施設プラットホーム扉前(扉開閉前後)の空間放射線量率(6月11日静岡市測定)

扉を閉めた状態	0.06 $\mu$ Sv/時(住民立会実施、床から高さ 1m、扉から 1m 離れた位置)
扉を開けた状態	0.06 $\mu$ Sv/時( 同上 )

4-3 プラットホーム No.8 扉前(扉開閉前後)の空間放射線量率(6月13日静岡市測定)

扉を閉めた状態	0.07 $\mu$ Sv/時(住民立会実施、床から高さ 1m、扉から 1m 離れた位置)
扉を開けた状態	0.07 $\mu$ Sv/時( 同上 )

4-4 熔融施設プラットホーム扉前(扉開閉前後)の空間放射線量率(6月15日静岡市測定)

扉を閉めた状態	0.07 $\mu$ Sv/時(住民立会実施、床から高さ 1m、扉から 1m 離れた位置)
扉を開けた状態	0.07 $\mu$ Sv/時( 同上 )

5-1 沼上清掃工場の周辺施設の空間放射線量率(6月11日静岡市測定。地面から50cmの高さ)

麻機小学校正面付近	0.08 $\mu$ Sv/時	麻機小学校グラウンド	0.05 $\mu$ Sv/時
西奈小学校正面付近	0.07 $\mu$ Sv/時	西奈小学校グラウンド	0.05 $\mu$ Sv/時
千代田東小学校正面付近	0.06 $\mu$ Sv/時	千代田東小学校グラウンド	0.05 $\mu$ Sv/時
北沼上小学校正面付近	0.06 $\mu$ Sv/時	北沼上小学校グラウンド	0.07 $\mu$ Sv/時
南沼上公園入口付近	0.06 $\mu$ Sv/時	南沼上公園公園中	0.06 $\mu$ Sv/時
北大門公園入口付近	0.06 $\mu$ Sv/時	北大門公園公園中	0.07 $\mu$ Sv/時

## 5-2 同上・試験焼却開始後

(6月13日静岡市測定。地面から50cmの高さ)

麻機小学校正面付近	0.08 $\mu$ Sv/時	麻機小学校グラウンド	0.05 $\mu$ Sv/時
西奈小学校正面付近	0.07 $\mu$ Sv/時	西奈小学校グラウンド	0.05 $\mu$ Sv/時
千代田東小学校正面付近	0.06 $\mu$ Sv/時	千代田東小学校グラウンド	0.06 $\mu$ Sv/時
北沼上小学校正面付近	0.06 $\mu$ Sv/時	北沼上小学校グラウンド	0.07 $\mu$ Sv/時
南沼上公園入口付近	0.06 $\mu$ Sv/時	南沼上公園公園中	0.07 $\mu$ Sv/時
北大門公園入口付近	0.06 $\mu$ Sv/時	北大門公園公園中	0.07 $\mu$ Sv/時

## 5-3 同上・試験溶融開始後

(6月15日静岡市測定。地面から50cmの高さ)

麻機小学校正面付近	0.08 $\mu$ Sv/時	麻機小学校グラウンド	0.06 $\mu$ Sv/時
西奈小学校正面付近	0.07 $\mu$ Sv/時	西奈小学校グラウンド	0.05 $\mu$ Sv/時
千代田東小学校正面付近	0.06 $\mu$ Sv/時	千代田東小学校グラウンド	0.05 $\mu$ Sv/時
北沼上小学校正面付近	0.06 $\mu$ Sv/時	北沼上小学校グラウンド	0.07 $\mu$ Sv/時
南沼上公園入口付近	0.06 $\mu$ Sv/時	南沼上公園公園中	0.06 $\mu$ Sv/時
北大門公園入口付近	0.06 $\mu$ Sv/時	北大門公園公園中	0.06 $\mu$ Sv/時

## 6 JR 静岡貨物駅での空間放射線量率(コンテナ到着前6月11日、到着後6月12日静岡県測定)

コンテナ到着前	0.05 $\mu$ Sv/時(地面から1mの高さ)
コンテナ到着後	0.03~0.05 $\mu$ Sv/時(コンテナの側面中心から1m離れた位置)

## 7-1 搬入時の空間放射線量率(6月12日静岡市、日本環境衛生センター測定)

コンテナの前後	0.05~0.07 $\mu$ Sv/時(コンテナの側面中心から1m離れた位置)
災害廃棄物本体	0.06~0.07 $\mu$ Sv/時(住民立会実施、床に広げた木くずから1m離れた位置)

## 7-2 同上(最終コンテナ)・試験焼却開始後 (6月13日静岡市、日本環境衛生センター測定)

コンテナの前後	0.05 $\mu$ Sv/時(コンテナの側面中心から1m離れた位置)
災害廃棄物本体	0.06 $\mu$ Sv/時(住民・報道機関立会実施、床に広げた木くずから1m離れた位置)

## 8-1 通常時焼却生成物の放射能濃度検査結果一覧(6月11日 日本環境衛生センター測定)

通常日 試料名	放射性セシウム (セシウム134) (Bq/kg)	放射性セシウム (セシウム137) (Bq/kg)	放射性セシウム (合計値) (Bq/kg)	放射線量率 ( $\mu$ Sv/h)	含水率 (%)
沼上清掃工場 (焼却施設) 通常搬入ごみ	2(2)	4(2)	6	0.08(0.08)	—
沼上清掃工場 (焼却施設) 主灰	ND(7)	13(8)	13	0.08(0.08)	18.6
沼上清掃工場 (焼却施設) 無害化处理灰(飛灰)	67(11)	90(10)	157	0.08(0.08)	17.4

沼上清掃工場 (灰溶融施設) 無害化処理灰(飛灰)	98(10)	160(12)	258	0.08(0.08)	26.8
沼上清掃工場 (灰溶融施設) 溶融スラグ	ND(7)	9(6)	9	0.08(0.08)	7.2
沼上清掃工場 (灰溶融施設) 溶融メタル	ND(4)	ND(4)	ND	0.08(0.08)	1.8
沼上清掃工場 (焼却施設) 溶融不適物	ND(8)	16(8)	16	0.08(0.08)	23.9

8-2 試験焼却開始後生成物の放射能濃度検査結果一覧(6月13、15、16日 日本環境衛生センター測定)

試験焼却開始後 試料名	放射性セシウム (セシウム134) (Bq/kg)	放射性セシウム (セシウム137) (Bq/kg)	放射性セシウム (合計値) (Bq/kg)	放射線量率 ( $\mu$ Sv/h)	含水率 (%)
沼上清掃工場 (焼却施設) 主灰	11(8)	21(10)	32	0.08(0.08)	24.9
沼上清掃工場 (焼却施設) 無害化処理灰(飛灰)	69(11)	96(11)	165	0.08(0.08)	18.2
沼上清掃工場 (灰溶融施設) 無害化処理灰(飛灰)	90(9)	140(9)	230	0.08(0.08)	27.4
沼上清掃工場 (灰溶融施設) 溶融スラグ	ND(7)	ND(8)	ND	0.08(0.08)	5.9
沼上清掃工場 (灰溶融施設) 溶融メタル	ND(4)	ND(4)	ND	0.08(0.08)	1.4
沼上清掃工場 (焼却施設) 溶融不適物	ND(6)	ND(6)	ND	0.08(0.08)	—

備考1)放射性物質の結果欄における“ND”は検出限界を下回ったことを表し、括弧内の数値は検出限界を示します。

2)結果の表記は現物当たりの値です。

3)放射性セシウムの合計値については、NDは0として計算します。

4)放射線量率の結果欄における括弧内の数値はバックグラウンド測定値を示します。

8-3 通常時焼却の放流水放射能濃度検査結果(6月11日 日本環境衛生センター測定)

通常日 試料名	放射性セシウム (セシウム134) (Bq/kg)	放射性セシウム (セシウム137) (Bq/kg)	放射性セシウム (合計値) (Bq/kg)
沼上清掃工場 放流水	ND(10)	ND(9)	ND

8-4 試験焼却(焼却処理)開始後の放流水放射能濃度検査結果(6月13日 日本環境衛生センター測定)

試験焼却開始後 試料名	放射性セシウム (セシウム134) (Bq/kg)	放射性セシウム (セシウム137) (Bq/kg)	放射性セシウム (合計値) (Bq/kg)
沼上清掃工場 放流水	ND(10)	ND(8)	ND

8-5 試験焼却(溶融処理)開始後の放流水放射能濃度検査結果(6月15日 日本環境衛生センター測定)

試験焼却開始後 試料名	放射性セシウム (セシウム134) (Bq/kg)	放射性セシウム (セシウム137) (Bq/kg)	放射性セシウム (合計値) (Bq/kg)
沼上清掃工場 放流水	ND(11)	ND(12)	ND

備考1)放射性物質の結果欄における“ND”は検出限界を下回ったことを表し、括弧内の数値は検出限界を表します。

2)結果の表記は現物当たりの値です。

3)放射線量率の結果欄における括弧内の数値はバックグラウンド測定値を示します。

8-6 沼上清掃工場試験焼却に伴う生成物量

	6月12日~14日	6月15日、16日	生成量計 (kg)
沼上清掃工場 溶融処理灰(焼却主灰)	31,990	—	31,990
沼上清掃工場 無害化处理灰(焼却飛灰)	9,050	—	9,050
沼上清掃工場 無害化处理灰(溶融飛灰)	—	1,380	1,380
沼上清掃工場 溶融スラグ(資源利用)	—	18,330	18,330
沼上清掃工場 溶融メタル(売却)	—	1,870	1,870
沼上清掃工場 溶融不適物	—	3,180	3,180

9 搬入された災害廃棄物の放射能濃度(6月12日、13日 日本環境衛生センター測定)

5~26Bq/kg

10-1 通常時焼却の2号炉排ガス放射能濃度検査結果一覧(6月11日 日本環境衛生センター測定)

測定場所	検査項目	検査結果 (Bq/m <sup>3</sup> N)		
		ろ紙部	ドレン部	合計
2号焼却炉煙突	放射性セシウム (セシウム 134)	ND(0.24)	ND(0.61)	ND
	放射性セシウム (セシウム 137)	ND(0.28)	ND(0.69)	ND
	放射性セシウム 合計	ND	ND	ND
2号溶融施設煙突	放射性セシウム (セシウム 134)	ND(0.27)	ND(0.48)	ND
	放射性セシウム (セシウム 137)	ND(0.24)	ND(0.51)	ND
	放射性セシウム 合計	ND	ND	ND

10-2 試験焼却開始後の2号炉排ガス放射能濃度検査結果一覧(6月13日、15日 日本環境衛生センター測定)

測定場所	検査項目	検査結果 (Bq/m <sup>3</sup> N)		
		ろ紙部	ドレン部	合計
2号焼却炉煙突	放射性セシウム (セシウム 134)	ND(0.29)	ND(0.57)	ND
	放射性セシウム (セシウム 137)	ND(0.23)	ND(0.70)	ND
	放射性セシウム 合計	ND	ND	ND
2号溶融施設煙突	放射性セシウム (セシウム 134)	ND(0.24)	ND(0.55)	ND
	放射性セシウム (セシウム 137)	ND(0.23)	ND(0.53)	ND
	放射性セシウム 合計	ND	ND	ND

備考)分析結果欄における括弧内の数値は検出限界を下回ったことを表し、NDは検出限界を下回ったことを表します。

11-1 通常時焼却の焼却飛灰溶出検査結果一覧(平成23年10月27日 )

	単位	測定結果	基準値
カドミウム又はその化合物	mg/l	0.01未満	0.3以下
鉛又はその化合物	mg/l	0.01未満	0.3以下
セレン又はその化合物	mg/l	0.02	0.3以下
六価クロム化合物	mg/l	0.04未満	1.5以下

ひ素又はその化合物	mg/l	0.01未満	0.3以下
水銀又はその化合物	mg/l	0.0005未満	0.005以下
アルキル水銀化合物	mg/l	0.0005未満	検出されないこと

11-2 試験焼却開始後の焼却飛灰溶出検査結果一覧(平成24年6月13日)

	単位	測定結果	基準値
カドミウム又はその化合物	mg/l	0.01未満	0.3以下
鉛又はその化合物	mg/l	0.02	0.3以下
セレン又はその化合物	mg/l	0.01未満	0.3以下
六価クロム化合物	mg/l	0.04未満	1.5以下
ひ素又はその化合物	mg/l	0.01未満	0.3以下
水銀又はその化合物	mg/l	0.0005未満	0.005以下
アルキル水銀化合物	mg/l	0.0005未満	検出されないこと
PCB	mg/l	0.0005未満	(0.003以下)

11-3 通常時焼却の溶融飛灰溶出検査結果一覧(平成23年10月27日)

	単位	測定結果	基準値
カドミウム又はその化合物	mg/l	0.01未満	0.3以下
鉛又はその化合物	mg/l	0.02	0.3以下
セレン又はその化合物	mg/l	0.02	0.3以下
六価クロム化合物	mg/l	0.04未満	1.5以下
ひ素又はその化合物	mg/l	0.01未満	0.3以下
水銀又はその化合物	mg/l	0.0008	0.005以下
アルキル水銀化合物	mg/l	0.0005未満	検出されないこと

11-4 試験焼却開始後の焼却飛灰溶出検査結果一覧(平成24年6月15日)

	単位	測定結果	基準値
カドミウム又はその化合物	mg/l	0.01未満	0.3以下
鉛又はその化合物	mg/l	0.03	0.3以下
セレン又はその化合物	mg/l	0.02	0.3以下
六価クロム化合物	mg/l	0.04未満	1.5以下
ひ素又はその化合物	mg/l	0.01未満	0.3以下
水銀又はその化合物	mg/l	0.0005未満	0.005以下
アルキル水銀化合物	mg/l	0.0005未満	検出されないこと
PCB	mg/l	0.0005未満	(0.003以下)

※ PCBの基準値は産業廃棄物の基準

12-1 通常時焼却の2号焼却炉排ガス基準項目検査結果一覧(5月9日 静岡市測定)

測定項目	単位	測定結果	基準値
ばいじん濃度(ダスト)	g/m <sup>3</sup> N	0.004未満	0.08
窒素酸化物濃度	ppm	44	250
硫黄酸化物濃度	m <sup>3</sup> N/h	1.4	約60
塩化水素	mg/m <sup>3</sup> N	53	700

12-2 試験焼却開始後の2号焼却炉排ガス基準項目検査結果一覧(6月13日 日本環境衛生センター測定)

測定項目	単位	測定結果	基準値
ばいじん濃度(ダスト)	g/m <sup>3</sup> N	0.004未満	0.08
窒素酸化物濃度	ppm	54	250
硫黄酸化物濃度	m <sup>3</sup> N/h	0.60	約60
塩化水素	mg/m <sup>3</sup> N	36	700
アスベスト	f/l	不検出	10(※参考基準値)

12-3 通常時焼却の2号灰溶融炉排ガス基準項目検査結果一覧(平成24年1月16日 日本環境衛生センター測定)

測定項目	単位	測定結果	基準値
ばいじん濃度(ダスト)	g/m <sup>3</sup> N	0.013未満	0.08
窒素酸化物濃度	ppm	48	250
硫黄酸化物濃度	m <sup>3</sup> N/h	0.02未満	約50
塩化水素	mg/m <sup>3</sup> N	5	700

12-4 試験焼却開始後の2号灰溶融炉排ガス基準項目検査結果一覧(6月15日 日本環境衛生センター測定)

測定項目	単位	測定結果	基準値
ばいじん濃度(ダスト)	g/m <sup>3</sup> N	0.005未満	0.08
窒素酸化物濃度	ppm	30	250
硫黄酸化物濃度	m <sup>3</sup> N/h	0.02未満	約50
塩化水素	mg/m <sup>3</sup> N	14	700
アスベスト	f/l	不検出	10(※参考基準値)

※ 大気汚染防止法の特定粉じん発生施設の敷地境界に係るアスベスト濃度基準であり、清掃工場には適用されない参考値である。

13-1 通常時焼却の焼却2号炉ダイオキシン類検査結果(平成23年9月12日 日本環境衛生センター測定)

測定項目	単位	測定結果	基準値
ダイオキシン類	Ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.020	1

13-2 試験焼却開始後の焼却2号炉ダイオキシン類検査結果(平成24年6月13日 日本環境衛生センター測定)

測定項目	単位	測定結果	基準値
ダイオキシン類	Ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.016	1

13-3 通常時焼却の灰溶融2号炉ダイオキシン類検査結果(平成23年9月12日 日本環境衛生センター測定)

測定項目	単位	測定結果	基準値
ダイオキシン類	Ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.000028	1

13-4 試験焼却開始後の灰溶融2号炉ダイオキシン類検査結果(平成24年6月15日 日本環境衛生センター測定)

測定項目	単位	測定結果	基準値
ダイオキシン類	Ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.0000027	1

※ 原発事故等とは関係なく、日常生活で受ける通常の被ばく(大地からの放射線は毎時0.04マイクロシーベルト、宇宙からの放射線は毎時0.03マイクロシーベルト)に加え、人体が受ける追加被ばく線量という考え方があります。

追加被ばく線量は一年間1ミリシーベルト(mSv/年)となっていますが、一時間当たりの空間放射線

量率にすると0.114 マイクロシーベルト( $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )になります。(表中の数値はこの $\mu\text{Sv}/\text{時}$ を用いています。)